

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床柔道整復学各論IV		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎203
担 当 教 員	仲村剛・福土暁也・岩村一成・澤卓実・林了大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
臨床に基づいた軟部組織損傷や下肢骨折、脱臼について総合的に習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験課題100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)						
《授業外における学習方法》						
解剖学、運動学も理論を考える上での基礎となるため、常に確認し、理解を深めること。						
《履修に当たっての留意点》						
柔道整復師の業務にあたり日常的に遭遇しやすい疾患を学習していくのでより深く理解するようにしてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	腱板断裂①		配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各自で前学年次の総合的な振り返りを行うことが必要である。	
	各コマにおける授業予定	腱板損傷に対する柔道整復臨床① 病態、受傷機転・発生机序、評価・整形外科的検査法、患者への病態説明				
第2回	授業を通じての到達目標	腱板断裂②		配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	振り返りから、目標を選定する為に現状把握が必要である。	
	各コマにおける授業予定	腱板損傷に対する柔道整復臨床② 損傷改善のための処置、治療法、治療計画、機能改善のための治療法				
第3回	授業を通じての到達目標	上腕二頭筋長頭腱損傷		配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	前学年時に履修した各科目の内容確認が必要となる。	
	各コマにおける授業予定	上腕二頭筋長頭損傷に対する柔道整復臨床 病態、受傷機転・発生机序、評価・整形外科的検査法、患者への病態説明、損傷改善のための処置、治療法、治療計画、機能改善のための治療法				
第4回	授業を通じての到達目標	大腿部損傷		配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	学年時における履修内容を踏まえて、本年時の履修内容を確認する。	
	各コマにおける授業予定	大腿部損傷に対する柔道整復臨床 病態、受傷機転・発生机序、評価・整形外科的検査法、患者への病態説明、損傷改善のための処置、治療法、治療計画、機能改善のための治療法				
第5回	授業を通じての到達目標	膝関節・側副靭帯損傷①		配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。	
	各コマにおける授業予定	側副靭帯損傷に対する柔道整復臨床① 病態、受傷機転・発生机序、評価・整形外科的検査法、患者への病態説明				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 膝関節・側副靭帯損傷②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
	講義形式	各コマにおける授業予定 側副靭帯損傷に対する柔道整復臨床② 損傷改善のための処置、治療法、治療計画、機能改善のための治療法		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 膝関節・十字靭帯損傷①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
	講義形式	各コマにおける授業予定 十字靭帯損傷に対する柔道整復臨床① 病態、受傷機転・発生機序、評価・整形外科的検査法、患者への病態説明		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 膝関節・十字靭帯損傷②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
	講義形式	各コマにおける授業予定 十字靭帯損傷に対する柔道整復臨床② 損傷改善のための処置、治療法、治療計画、機能改善のための治療法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 膝関節・半月板損傷①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
	講義形式	各コマにおける授業予定 半月板損傷に対する柔道整復臨床① 病態、受傷機転・発生機序、評価・整形外科的検査法、患者への病態説明		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 膝関節・半月板損傷②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
	講義形式	各コマにおける授業予定 半月板損傷に対する柔道整復臨床② 損傷改善のための処置、治療法、治療計画、機能改善のための治療法		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 下腿三頭筋肉離れ	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
	講義形式	各コマにおける授業予定 下腿三頭筋肉離れに対する柔道整復臨床 病態、受傷機転・発生機序、評価・整形外科的検査法、患者への病態説明、損傷改善のための処置、治療法、治療計画、機能改善のための治療法		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 アキレス腱断裂	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
	講義形式	各コマにおける授業予定 アキレス腱断裂に対する柔道整復臨床 病態、受傷機転・発生機序、評価・整形外科的検査法、患者への病態説明、損傷改善のための処置、治療法、治療計画、機能改善のための治療法		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 距腿関節・外側靭帯損傷	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
	講義形式	各コマにおける授業予定 外側靭帯損傷に対する柔道整復臨床 病態、受傷機転・発生機序、評価・整形外科的検査法、患者への病態説明、損傷改善のための処置、治療法、治療計画、機能改善のための治療法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 内側靭帯損傷	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
	講義形式	各コマにおける授業予定 内側靭帯損傷に対する柔道整復臨床 病態、受傷機転・発生機序、評価・整形外科的検査法、患者への病態説明、損傷改善のための処置、治療法、治療計画、機能改善のための治療法		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標 足底腱膜損傷	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
	講義形式	各コマにおける授業予定 足底腱膜損傷に対する柔道整復臨床 病態、受傷機転・発生機序、評価・整形外科的検査法、患者への病態説明、損傷改善のための処置、治療法、治療計画、機能改善のための治療法		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床柔道整復学各論IV		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎203
担 当 教 員	仲村剛・福土暁也・岩村一成・澤卓実・林了大	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
臨床に基づいた軟部組織損傷や下肢骨折、脱臼について総合的に習得する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験課題100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学理論編(全国柔道整復学校協会編集) 柔道整復学実技編(全国柔道整復学校協会編集)						
《授業外における学習方法》						
解剖学、運動学も理論を考える上での基礎となるため、常に確認し、理解を深めること。						
《履修に当たっての留意点》						
柔道整復師の業務にあたり日常的に遭遇しやすい疾患を学習していくのでより深く理解するようにしてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者指導①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	患者とその環境の把握			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者指導②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	患者の環境に対する指導管理② 日常生活動作、環境に対する指導管理			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者指導③	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	患者の環境に対する指導管理③ 住宅環境に対する指導管理			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者指導④	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	患者の環境に対する指導管理④ 就労環境、就学環境に対する指導管理			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者指導⑤	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて実技編の教科書確認が必要となる。	
		各コマにおける授業予定	患者の環境に対する指導管理⑤ スポーツ活動に対する指導管理、			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者指導⑥	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	自己管理に対する指導 予防の認識と指導管理		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	後療法①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	手技療法①		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	後療法②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	手技療法②		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	後療法③	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	運動療法①		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	後療法④	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	物理療法①		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	後療法⑤	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	物理療法②		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	固定法①	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	中足骨骨折固定法① 第5中足骨基部裂離骨折		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	固定法②	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	中足骨骨折② 中足骨骨幹部骨折		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	固定法③	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	テキストの確認を行なう。必要に応じて解剖学の教科書確認が必要となる。
		各コマにおける授業予定	足趾の脱臼		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	配布資料 柔道整復学・理論編改訂第6版 (全国柔道整復学校協会監修教科書)	各テキストの確認を行なう。
		各コマにおける授業予定	総復習		